

# 第23回海洋会ボランティアクラブ総会

事務局長 松崎光男(東船大 N13)

総会は、平成26年6月28日(土)16:00より、東京海洋大学 越中島会館で開催された。

(出席者 計26名) (他に委任状24通)

阿部 勝 新井典郎 江森健二 小田島厚  
鹿野文洋 神谷洋一郎 北沢昌永 清原久和  
佐藤勝二郎 塩崎雅敏 関根元久 高島 健  
谷山 洋 都築雅彦 長尾卓治 中澤一義  
中島光雄 野口晟圭 林 作治 早津義彦  
原 鉄男 広瀬 斉 松崎光男 望月二郎  
森 俊彦 山崎忠順 (五十音順)

## 1. 議 事

- 第1号議案「平成25年度事業実績」
- 第2号議案「平成25年度会計報告」
- 第3号議案「平成26年度事業計画及び予算」
- 第4号議案「役員人事、会員の入・退会」等
- 第5号議案「明治丸観覧記念品会計報告」
- 第6号議案「明治丸ボランティアガイド服装規定」制定

- その他①「明治丸修復の現状」他 報告  
②「海洋会の動向について」報告  
③「NPO法人」について報告

- ・第1号議案、第2号議案、第3号議案、及び第5号議案については、議案どおり全会一致で承認された。
- ・第4号議案については、提案どおり承認され、代表幹事の交替を含め、平成26年度役員の新体制は以下のとおりとなった。(敬称略)

代表幹事 原 鉄男

事務局長 松崎光男

幹事 新井典郎 岡村 勝 小田島厚  
清原久和 佐藤勝二郎 高島 健  
谷山 洋 都築雅彦 林 作治  
広瀬 斉 望月二郎

監事 早津義彦 山崎忠順

また、総会までに退会者2名、入会者4名があったとの報告があり、退会者に対し謝意が

述べられた。

- ・第6号議案「明治丸ボランティアガイド服装規定」制定については、夏用ベストを新調したのを機に、改めて帽子、ジャンパー、ベスト等の貸与品に関する規定を制定し、管理体制を明確化すると共に、ガイド時の服装に関する規定を設けたもので、全会一位で承認された。

## 2. 各グループの事業実績と事業計画

海洋会ボランティアクラブの4つのグループにつき、総会での報告に基づき、それぞれの活動状況を以下に要約する。

### 【船の科学館 グループ】

- ・平成25年度事業実績

「船の科学館」は、平成23年9月末をもって休館となり、再建を目指して模索中であるが、平成25年度も再建の見通しが開示されないまま、「宗谷」の一般公開と旧マリンショップを利用したミニ展示を細々と継続したのみで経過したため、「船の科学館グループ」の活動も休止したままの状況が継続した。

- ・平成26年度事業計画

「船の科学館」の母体である財団法人「日本海事科学振興財団」は平成25年4月1日より公益財団法人となった。

2020年の東京オリンピックに向け、東京都が、現在の水産庁及び航海訓練所の棧橋の沖に430mの客船棧橋を建設する計画があるので、これを機に、再建出来ないか検討中とのことであるが、現段階においては、再開館についての明確な見通しは無く、本グループの活動は、やむなく引き続き休眠とし、幹事が「船の科学館」との連絡窓口にはあたり、今後の成り行きを注視することとする。

### 【ビーチ・クリーンアップ グループ】

- ・平成25年度事業実績

鵜沼海岸を拠点としてビーチ・クリーン

グを行ってきたが、企業のCSR機運の高まりに伴い独自の活動に重点を移している関係で、全体として参加人数が減少するなか、団体参加の海洋会チームは、JEAN (Japan Environmental Action Network) の活動の中での存在感が増している。活動実績は以下のとおり。

春季 平成25年4月21日 雨天中止

秋季 平成25年9月22日 参加者12名

・平成26年度事業計画

引き続きJEANとの情報交換、地域ボランティアとの連携を積極的に進め、海洋ゴミの清掃活動を強化すると共に、海洋会会員や海洋大の学生等を対象に、活動への参加者を増やす努力を強化する。

### [明治丸グループ]

・平成25年度事業実績

(1) 明治丸修復工事待ちのため、主として「百周年記念資料館」の常設展示、特別展示等への協力を行った。7月には特別展示「明治を輝らした光展」が開催され、8月及び1月の休館月を挟んで、延105日に亘り、延251名が協力した。

(2) 活動実績

常設展示 (上期) 4月2日～6月20日

(下期) 9月3日～3月27日

延協力者 182名 見学者 2,991名

(6月1, 2日の学生祭での

延協力者 30名 見学者 1,264名)

特別展示 7月2日～7月31日

延協力者 55名 見学者 814名

(海の日7月15日の

延協力者 17名 見学者 504名)

深川さくら祭 平成25年4月6, 7日

平成26年3月29, 30日

延協力者 14名 見学者 65名

総計 延協力者 251名 見学者 3,870名

・平成26年度事業計画

平成27年3月末の完成を目指して、平成25年12月より明治丸の修復工事が始まった。平成26年度は、引き続き「明治丸海事ミュージアム」の展示活動への協力を中心に活動を継続する一方、修復工事完成後の「明治丸」の一般公開、維持・管理、利用・活用の方策検討

に関しても、大学側に積極的に協力していくと共に、新たな会員の増強を積極的に進めることとする。

### [海洋会支援グループ]

・平成25年度事業実績

会員15名、賛助会員2名、計17名で構成され、海洋会誌「海洋」の袋詰、梱包発送作業への協力を中心に、海洋会への支援活動を行っている。平成26年度は「海洋」が5回 (No.882～886) 発行され、各回13名～15名 (年間延70名) が作業にあたった。

・平成26年度事業計画

前年度同様の作業協力を行う。

### 3. 「明治丸」修復工事関係について

総会の席上、鶴田副学長 (明治丸海事ミュージアム機構長) より概略以下の報告があった。

・「明治丸」は、平成27年3月末完工を目指して、6月末現在、デッキ、マスト等の工事を行っている。

・これを機に、現在の「百周年記念資料館」の機能を補完して、より有効に活用できるよう、「百周年記念資料館」の道路側に隣接して、仮称「明治丸資料館」を、大学の予算で新築すべく検討中である。

・「明治丸海事ミュージアム事業」実施のための募金は、平成27年1月末をもって終了するが、集まった募金については現在まで一切手を付けておらず、募金終了後は、透明性をもって資金を管理・運用していくため、外部委員も加えた新委員会へ移管することを検討することになる。



修復中の明治丸